

# 授業中や座っているべき ときに席を離れてしまう子





ゆうじ君は小学1年の活発な男の子です。  
しかし、授業中や集会など座っているべきときに、自分の席や場所を離れてしまうことがよくあり、先生もどう対処すれば良いのか悩んでいました。

他にはこんな姿も・・・・・・・・

- 他の子の持っている物、やっていることが気になる。
- 掲示物に興味をもち、引きつけられるように、授業中立ち歩いてしまう。
- 落ち着きがなく、絶えず体を動かしている。



どうして授業中や座っている  
べきときに席を離れてしまう  
のだろうか？

その背景は何？



# 推測できるつまづきの要因

- ① 視覚的あるいは聴覚的な刺激に影響を受けやすい
- ② 集中できる時間が短い
- ③ 指示や学習の内容を理解できていない
- ④ 周りの関心をひくためにわざと目立つ行動を見せる

そこで！

## 実態把握のポイント！



### ① 離席の状況を把握する。

※どんな教科、どんな活動の時に、席を離れようとするのか、丁寧にみていく。

※記録に残しながら把握する。

## 実態把握のポイント！



②かかわり方の条件を変えながら実態を把握する。

- ※ことばによる指示で行動を訂正できるのか？
- ※ことばによる指示を何回か繰り返すとできるのか？
- ※補助がつかないと行動をコントロールできないのか？

## 指導の実際

ゆうじ君の先生は、こんな取り組みをしました。

1. 座席は窓側を避けて、一番前にする。
2. 授業中は、黒板だけが見えるように教室前面にカーテンをつける。
3. 学級全体に対して指示を与えた後に、必ずゆうじ君に対する個別の指示を与える。
4. 指示をなるべく具体的にする。



## 指導の実際

5. 授業を、読む→考える→操作する→書く  
というように流れをパターン化し、それぞれ一つの作業を短時間で構成する。
6. 休み時間などに十分身体を動かす。
7. 立ち上がりそうになった時に、プリント配布の仕事を手伝ってもらおうなど、時には立ち歩きを認める。

## 指導のポイント①

1. 座席を窓側を避けて、一番前にする。
2. 授業中は、黒板だけが出るように教室全面にカーテンをつける。

### ★刺激の調整

- 掲示物、外の景色（音）、他の子どもの行動などの影響を受けやすいので、できる限りそれらが目に入らないようにする必要がある。

## 指導のポイント②

3. 学級全体に対する指示の与え方も、必ずゆうじ君に対する個別の指示を組み合わせる。
4. 指示をなるべく具体的にする。

### ★指示に関する配慮

- ・ 指示が分かっていない場合もある。
- ・ 学級全体への指示が、自分に対するものではないと思っているかもしれない。
- ・ 必ず個別に指示するように配慮する。

## 指導のポイント③

5. 授業を、読む→考える→操作する→書くというように流れを一定にし、それぞれ一つの作業を短時間で構成する。

### ★授業のモジュール化

- ・他の子どもよりも一つの作業（活動）に集中できる時間が短時間であることに留意する。
- ・モジュール化によって、見通しをもって作業（活動）ができるよう促す。

## 指導のポイント④

6. 休み時間などで十分に身体を動かす。
7. 立ち上がりそうになった時に、プリント配布の仕事を手伝ってもらうなど、時には立ち歩きを認める。

### ★エネルギーの発散を促す

- ・いつも離席を止めるだけでなく、時には許容することも大切。身体を十分に動かしてエネルギーを発散させることも重要。
- ・職員室や保健室等にあらかじめ用意しておいた手紙を届ける等の作業（お手伝い）も考えられる。

## より個に応じた指導

### ◆ 学校、教室の中でのルール作り

#### 【例】

- ・ ルールを守ること
- ・ 順番が来るまで待っていること

#### 【留意点】

- ・ 多様な評価（結果だけでなく、着席していたこと、頑張ったこと等）がなされること。

## より個に応じた指導

### ◆ 学習面に配慮

- ・ 学習内容や与える課題に無理がないか配慮する。
- ・ 保護者の理解と協力を得ながら、子どもの学習メニューを準備する。

#### 【留意点】

- ・ ゆうじ君のような行動をみせる子どもたちの中には、学習内容が理解できずに、学習意欲が低下している可能性もある。



授業中や座っているべき  
ときに席を離れてしまう  
子の場合

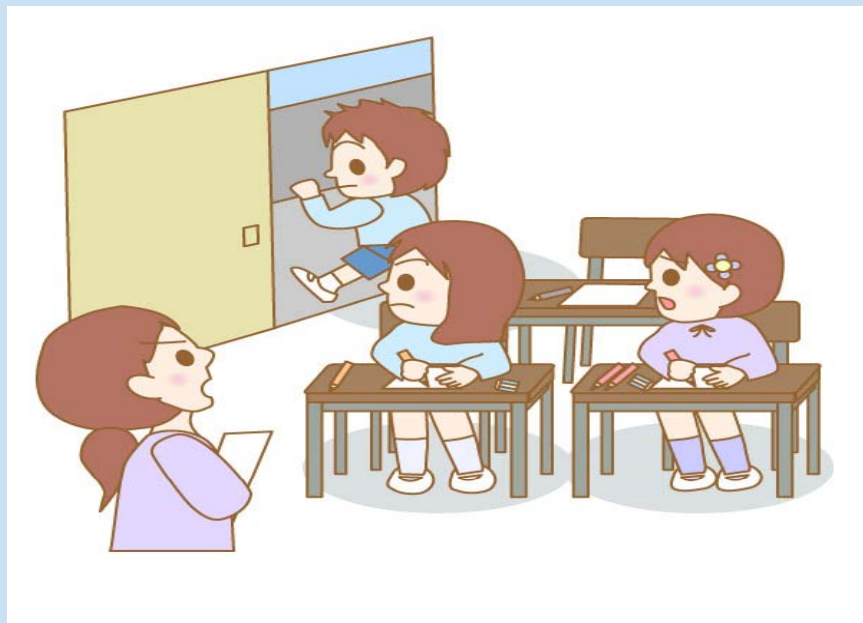
## 注意欠陥・多動性障害(ADHD) の子どもたち

### 留意点

- 多動な行動を頻発する中で、安全面への配慮が必要。
- 離席、飛び出し等の多動状態は、個人差はあるが、ある程度年齢が進むと目立たなくなることが報告されている。
- 医療や専門の相談機関との連携を図る。



# 授業中や座っているべき ときに席を離れてしまう子



終わり  
担当：大城政之